



福島県浜通り地域における 高等教育機関の未来像

福島と教育に関する展望海外からのインスピレーション



デカルペントリ・ゾエ
研究インターン
2025年4月1日 - 2025年6月29日



2025年7月17日
早稲田大学 ふくしま浜通り
未来創造研究センター
松岡 俊二

1. はじめに

1.1 背景と研究目的

- 2011年3月11日
- 地域活性化に向けた取り組み ～> 福島県浜通り地域における新たな高等教育機関(HEI)の設立？
- 外国の視点
 - 1) 選択された外国の視点(福島の教訓に関する)
福島の教訓)
 - 2) 浜通りHEIの潜在的可能性の探求
 - 2.1) 福島からの教訓 = 使命の核心
 - 2.2) 教育モデルのヒント…世界中の事例を参考に

1. 序論

1.2 福島からの教訓

- 「福島からの教訓」という概念
 - 大規模で動的かつ多層的
 - 分野/視点/原子力エネルギーへの態度による差異 => 異なる解釈
 - 一般的には: 原子力事故から学び、復興プロセスを通じて得た重要な教訓を、将来の世代に伝える必要がある。これにより、原子力事故を防止するだけでなく、万一発生した場合にも適切に対応できるようになる。
 - (e.g. Ali et al., 2024 ; Fukushima Booklet Committee, n.d.; Hasegawa, 2012; Lochard & Chhem, 2023; NEA, 2016; NEA, 2021; Wang et al., 2013; Yang, 2014)
 - 福島の教訓 = 浜通りHEIのミッションの核心
 - 紛争や緊張に強く影響されている場合でも、その教訓をどのように理解すべきか？
 - (S. Matsuoka, personal communication, 25 June 2025)

2. 福島（の教訓）に関する外国の視点（1）

- 対象国：ベルギー、オランダ、ドイツ、フランス、およびイギリス（UK）
- 過去5年間に発表された主な資料
- 3つの小見出し：
 - 2.1 メディア報道と公衆の議論
 - 2.2 教育内容
 - 2.3 政府報告書と国別ニュース

2. 福島（の教訓）に関する外国の視点（2）

表1 – 外国の視点の要約

国	メディア/公的議論	教育内容	政府の対応
ベルギー	中立的な立場から、処理水放出 (de Vos, 2022; Heylen, 2023; Redactie, 2023) への対応から、長期的な廃止計画と再活性化計画に対する軽度の懸念 (Rensen, 2024; Waarlo, 2021) へと移行している。グリーンピースBEは、日本とベルギーの原子力計画を批判している (VRT NWS, 2021; Greenpeace, 2021a & 2021b)	SCK CENは、16～18歳を対象に福島に関する教育資料を開発し、日本とベルギーの原子力状況を結びつけている (Kenens, n.d.)。市民社会と実践的な問題に焦点を当て、国民の懸念を反映している。	FANCは福島を安全性の触媒と位置づけ、リスク／危機対応計画の改善を推進している (FANC, 2020)。2025年5月15日は原子力エネルギー利用の転換点となっている (Bihet, 2025; SCK CEN, 2025)。
フランス	廃炉に関する中立的なメディア報道 (Le Monde, 2025) は、透明性の必要性を強調している (Courrier International, 2023)。	地理・歴史のリスク教育用教科書が、管理不備とその影響を指摘している (Lelivrescolaire, 発行年不明)。	ASNは福島を安全性の触媒と位置づけ、事故後のガバナンスにおいてより良い計画と包摂性を強調している (ASN, 2023; Repères, 2021)。ただし、福島はフランスの原子力モデルへの信頼を強化する契機となっている (I' MTech, 2023)。
オランダ	水放出に関する中立的な報道 (NOS Nieuws, 2023) および、人間的な側面 (被害者・補償) に焦点を当てた報道が行われている (NOS Nieuws, 2022; Van Der Veere, 2022)。	公的な教育資料はほとんど見つからない。	EUのストレステスト結果に関する良好な報告がなされており (Autoriteit NVS, 2022)、保護措置と意図しない負の影響のバランスを取る必要性が指摘されている (RIVM, 2020)。
ドイツ	福島第一原子力発電所の事故は、大規模な反原発運動を引き起こしている。メディアでは、原発の段階的廃止の完了や、エネルギー政策のトレードオフ (例: 石炭 vs. 原発) に関する議論が取り上げられている (Heid, 2023; NHK World, 2023)。	公的な教育資料はほとんど見つからない。	福島の事故は原子力廃止を促進し、再生可能エネルギーの拡大が進んだ一方で、一時的に石炭への依存が増加した (Heid, 2023に基づく)。
イギリス	バランスの取れた、あるいは肯定的な報道が見られ、福島復興 (例: モモ) を推進している (Callery, 2023; Armstrong, 2024)。原子力エネルギーを気候変動対策の一環として紹介している (The Economist, 2021)。	実質的な公的教育リソースは見つからない。	ONRIは福島の遺産を認識し、その教訓を原子力安全の強化に活かしている。日本の取り組みを評価している (ONR, 2021)。

3. 福島県浜通り地域にある高等教育機関（1）

3.1 福島の教訓から高等教育機関の使命へ

- 初期目標：外国の視点から提言を収集する
 - 海外でどのように社会的に位置付けられ、政治的に利用され、教育されているかを理解する
 - 主要なテーマの特定を支援するが、地域のおよび/または日本のニーズを反映しない可能性がある
 - テーマ：社会学（公共の信頼/意見）；環境学（環境正義、核廃棄物問題など）、（公共）コミュニケーション管理；政治学；災害ガバナンス；
- 外国の視点から：
 - 福島の教訓の核心は、複雑なシステムを理解し管理するために、学際的・超学際的なアプローチ、より高い透明性、およびすべてのステークホルダー間の包括的な対話を通じて、協働的な知識創造を促進することの重要性を示している

3. 浜通り地域にある高等教育機関（2）

3.1 福島教訓から高等教育機関の使命へ

- 世界的に、問題はかつてないほど複雑化しています（Apgar et al., 2009）。
 - 浜通り：1Fの廃炉、浜通りの再建と活性化、さらには福島の遺産を次世代に継承するための取り組み
- 複雑な問題
 - 高い不確実性、多様な視点、地域からグローバルなスケールまで相互に関連した複数のプロセス。
- 異なるステークホルダーと知識を統合するトランスディシプリナリーアプローチ
 - トランスディシプリナリティーを促進するためには、健全な対話プロセスと包括的な枠組みが不可欠（Apgar et al., 2009）である。
- これらの対話は、信頼と良好なチームワークを育むために、透明性と正直さが不可欠である。
- 21世紀 – 高等教育が直面するより複雑な課題と挑戦
 - 「複雑なグローバル課題を理解し、解決策を提供できる未来のリーダーと意思決定者を育成する」機会（Fahey, 2012）
- ミッションへの回帰：福島教訓は、その本質的に動的な性質上、固定的に定義されるべきものではないかもしれない。むしろ、これらの教訓をめぐる知識の発見、探求、共創のプロセス自体が、浜通りの高等教育機関（HEI）のミッションとなりうる。
- 学生に、福島の遺産である複雑な課題を考えるための必要な知識、（学際的な）思考の方法、スキル、および（包括的な）分析ツールを身につけさせる。

3. 福島県浜通り地域にある高等教育機関（3）

3.2 海外からのインスピレーション

- 4つの例：新設の未来志向型大学2校と、関連するテーマに基づく2つの専門学位プログラム：
 - インドのKrea 大学（Krea University）
 - メキシコ環境大学(UMA)
 - ダブリンのグローバル・スクール・フォー・アドバンスト・スタディーズ(GCAS)カレッジにおける学際的研究の学士号
 - 環境科学と管理の修士号(ULB)
- プロジェクトにおける潜在的な協力関係
 - 福島研究・教育・イノベーション研究所(F-REI)
 - 福島イノベーション・コースト・フレームワーク(FIPO)
 - 福島再生可能未来基金(FRFF)
 - プロジェクト/カフェ・ノマド
 - Futaba ART District(福島浜通り、n.d.)。
 - 本報告書の目的は外国の視点を提供することであり、浜通り地域への具体的な適用は限定的であり、さらなる研究が推奨される。

3. 福島県浜通り地域にある高等教育機関（4）

3.2.3 浜通り地域の高等教育機関（HEI）に対する提案の要約（例示HEIに基づく）

表2 - 例示高等教育機関からの提言と学位の要約

コア要素	参考となる要素	浜通り高等教育機関への関連性	出典
ミッション	不確実な世界に対応できる人類を育成する (Krea, 2024)	浜通り地域は、1Fの廃炉に関する複雑な課題と人口動態の変化により、高い不確実性に直面している	Krea
	変化のエージェントを支援し、社会環境変革を促進するイニシアチブを通じて、再生可能で持続可能かつ倫理的な未来を築く (UMA, 2024)	浜通りの長期的な環境回復 (例: 森林再生、土壌汚染対策)、倫理的な産業再建、コミュニティ福祉の向上といったニーズと一致しており、FIPO (FIPO, n.d.) のような地域開発計画とも親和性がある	UMA
価値観	持続可能性、倫理、協働、学際性、複雑性への配慮を重視する	上記ミッションを支える要素であり、浜通りの地域的複雑性や記憶を反映する枠組みを提供する	すべて
教育モデル	相互に結びついた学習: 芸術、科学、理論、実践を架橋する (Krea, 2024)	柔軟かつ包括的な学習モデルは、浜通りの創造的再構築、持続可能な農業、災害レジリエンス、再生可能エネルギー、社会イノベーションなど、相互に絡む課題への対応力を育む可能性がある	Krea
	実践を通じた学習: 1年目から組み込まれた社会環境プロジェクト (UMA, 2024)	学生は、FIPO、F-REI、NPOノマド、福島再生未来基金 (FRFF) などと連携し、地域に根ざしたプロジェクトに参加できる	UMA
教育提供	解決志向の学習、歴史と証拠に基づく推論に基づく勇気ある思考 (GCAS College Dublin, n.d., Keystone, n.d.)	福島 of 教訓と歴史を踏まえた文脈に応じた思考を通じて、学生が複雑な課題への解決策を探る姿勢を育む	GCAS
	科学、人文学、芸術の分野を横断する強い学際的な基盤 (Keystone, n.d.; Krea, 2024; ULB, n.d.)	学生が複雑性や不確実性に対応する力を養うことを支援し、浜通りの状況に高い適合性を持つ	Krea、ULB、GCAS
	柔軟なカリキュラム (Krea, 2025)	学際的な学習を可能にする柔軟性を備える	Krea
	地域重視: 地域プロジェクトを通じた深い地域連携 (UMA, 2024)	HEIが地域コミュニティと協働するモデルを示し、地域に密着した教育を実現する	UMA
	複雑性、システム思考、社会環境動態に関するコース...	学生が複雑な社会・環境課題に対応する力を身につけるうえで、浜通りの状況と強く結びつく	ULB

3. 福島県浜通り地域にある高等教育機関（5）

3.3 福島県浜通り高等教育機関（HEI）に対する最終的な提言

- **ミッション**：浜通り高等教育機関は、福島ダイナミックな教訓から知識を発見し、探求し、共創することを目的とし、また、地域社会とグローバルコミュニティ、環境との連携を通じた学際的な学習、対話、参画を通じて、21st世紀に対応できる学生を育成することを目指しています。
- **価値観**：持続可能性、倫理、協働、学際性、複雑性の考慮。
- **教育モデル**：学際的な学習と貢献を通じた学習（実際の地域プロジェクトを含む）。
- **教育プログラム**：地域プロジェクトを通じたコミュニティ重視の強い学際的基盤。上記テーマ（社会学、環境学など）にインスパイアされた学科のコース、およびこれらの学科を統合したコース（例：社会環境ダイナミクス、ULBコース）や、複雑性とシステム思考に関するコース。

4. 結論 (1)

- 福島第一原子力発電所事故に関する外国の視点
 - 複雑で多層的であり、異なる分野や領域にまたがる。
- 5つの選定された国からの福島事故と教訓に関する見解
 - は多岐にわたり、各国の原子力政策や議論の立場を反映していることが多い。
- 福島から得られる核心的な教訓を抽出し、浜通りHEIのミッションを確立するための探求。
 - 複雑なシステムを理解し管理するための学際的・超学際的アプローチ、透明性の向上、およびすべてのステークホルダー間の包括的な対話を通じて、協働的な知識創造を促進する重要性
- ミッション: 浜通りHEIは、福島の動的な教訓を巡る知識の発見、探求、共創を通じ、21世紀に対応できる学生を育成することを目的とする。これには、学際的な学習、対話、地域社会とグローバルコミュニティ、環境との関与が含まれる
- 社会学、環境学、コミュニケーション管理、政治学、災害ガバナンスなど
- 浜通り地域は、世界に類を見ない状況にある。なぜなら、同様の条件を有する地域に高等教育機関が設立された前例は存在しないからである。

4. 結論 (2)

- 世界中の革新的な高等教育機関(HEI)と学位プログラムからのインスピレーション:
 - 持続可能性、学際性、地域社会との連携、プロジェクトベースドラーニングに関連する価値観とミッション
 - => 浜通り地域に深く根ざした大学設立の基盤を築くと同時に、学生をグローバルな課題に対応できる人材として育成することを目指すものである。
浜通り地域に根ざした未来志向で地域に焦点を当てた大学は、地域再生と急速に変化する複雑な世界に対応した教育において変革的な役割を果たす可能性がある。
- 本報告書は、高等教育機関の設立を検討するにあたっての参考となり得る多くの視点のうちの一つに過ぎず、外国の視点からの提言にすぎない。
- => 範囲が限定されており、特に地域や日本の視点からの追加研究が推奨される。

ご清聴いただき、ありがとうございます

- ご質問はございますか？

参考文献

Ali, A., Haruko, M. Wainwright, G.S., Randall, G., Kimiaki S. (2024). Resilient design in nuclear energy: Critical lessons from a cross-disciplinary analysis of the Fukushima Dai-ichi nuclear accident. *iScience*, 27(4), 109485. DOI: 10.1016/j.isci.2024.109485.

Apgar, J.M., Argumedo, A. & Allen, W. (2009). Building Transdisciplinarity for Managing Complexity: Lessons from Indigenous Practice. *International Journal of Interdisciplinary Social Sciences*, 4(5), pp.255-270. <https://essayquest.wordpress.com/wp-content/uploads/2012/05/apgar-j-m-2009.pdf>

Armstrong, K. (2024, September 10). *UK sells peaches from Fukushima nuclear disaster region*. <https://www.bbc.com/news/articles/c628pm6r5jjo>

ASN. (2023). ASN Report on the state of nuclear safety and radiation protection in France in 2023. Autorité de Sûreté Nucléaire. <https://www.french-nuclear-safety.fr/information/publications/asnr-s-annual-reports/asn-report-on-the-state-of-nuclear-safety-and-radiation-protection-in-france-in-2023>

Autoriteit NVS. (2022, April 20). *Stresstests*. Autoriteit Nucleaire Veiligheid en Stralingsbescherming. <https://www.autoriteitnvs.nl/voorlichting/stresstest>

Bihet, M. (2025, May 15). *Kernenergie is terug: België begint aan een nieuw energietijdperk*. bihet.belgium.be. <https://bihet.belgium.be/nl/nieuws/kernenergie-terug-belgie-begint-aan-een-nieuw-energetijdperk-0>

Callery, J. (2023, August 30). Fission chips: Japan's PM eats "safe and delicious" fish from Fukushima after wastewater from the crippled nuclear plant was released into the sea, prompting safety fears. *Mail Online*. <https://www.dailymail.co.uk/news/article-12461217/Japans-PM-eats-Fukushima-fish-prompting-safety-fears.html>

Courrier Internationale. (2023, July 12). À Fukushima, le Japon "devra garantir une transparence maximale." *Courrier International*. <https://www.courrierinternational.com/article/nucleaire-a-fukushima-le-japon-devra-garantir-une-transparence-maximale>

De Vos, V. (2022, August 24). Japan wil opnieuw meer nucleaire energie | VRT NWS: nieuws. *VRTNWS*. <https://www.vrt.be/vrtnws/nl/2022/08/24/japan-wil-opnieuw-meer-nucleaire-energie/>

EU4Schools. (n.d.). UNDP. <https://www.undp.org/albania/projects/eu4schools>

European Commission. (2023, July 23). *EU Cohesion Policy: Croatia received €1 billion in recovery support following the devastating earthquakes*. ec.europa.eu. https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/ip_23_3679

Erdmann, K. (2021, March 1). *10 Jahre Fukushima - Neuanfang nach der Katastrophe*.

Deutschlandfunk Kultur. <https://www.deutschlandfunkkultur.de/10-jahre-fukushima-neuanfang-nach-der-katastrophe-100.html>

Fahey, S.J. (2012). Curriculum change and climate change: Inside outside pressures in higher education. *J. Curriculum studies* 44(5), pp. 703-722. DOI: 10.1080/00220272.2012.679011

FANC (2021). Fukushima 10 jaar later. fanc.fgov.be <https://fanc.fgov.be/nl/system/files/2021-03-08-fukushima-10-jaar-later-vdef.pdf>

FIPO. (n.d.). *About the Framework*. Fukushima Innovation Coast Framework. <https://www.fipo.or.jp/en/framework>

F-REI. (n.d.). *(The field of Agriculture, Forestry and Fisheries) Call for Unit Leaders of the Smart Agriculture Research Unit (provisional name)*. Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI). https://www.frei.go.jp/english/recruitment/call_for_ul_smart_agri_en.html

Fukushima Booklet Committee. (n.d.) 10 Lessons from Fukushima: Reducing risks and protecting communities from nuclear disaster [Booklet]. Japan: Fukushima Booklet Committee. http://fukushimalessons.jp/assets/content/doc/Fukushima10Lessons_ENG.pdf

Fukushima Hamadori. (n.d.). *FUTABA Art District | FUKUSHIMA HAMADORI COASTAL AREA*. FUKUSHIMA HAMADORI COASTAL AREA. <https://en.hamadori-coast.com/place/p03>

Fukushima Renewable Future Fund. (n.d.). *Home | Philosophy*. kikin.aizu-energy.co.jp. <https://kikin.aizu-energy.co.jp/en/>

参考文献

- GCAS College Dublin. (n.d.). *Our Philosophy* | GCAS – Scholar-Owned, Debt-Free Higher Education for the Future — GCAS College Dublin debt-free, higher-quality education. GCAS College Dublin. <https://gcas.ie/our-philosophy>
- Greenpeace België. (2021a, March 11). *10 jaar later: leren van Fukushima (deel 1) - Greenpeace België*. <https://www.greenpeace.org/belgium/nl/stories/20872/10-jaar-later-leren-van-fukushima-deel-1/>
- Greenpeace België. (2021b, March 11). *10 jaar later: leren van Fukushima (deel 2) - Greenpeace België*. <https://www.greenpeace.org/belgium/nl/stories/20884/10-jaar-later-leren-van-fukushima-deel-2/>
- Hasegawa, K. (2012). Facing Nuclear Risks: Lessons from the Fukushima Nuclear Disaster. *International Journal of Japanese Sociology*, 21, pp. 84-91. DOI: 10.1111/j.1475-6781.2012.01164.x
- Heid, M. (2023, July 19). Why ultra-green Germany turned its back on nuclear energy. Vox. <https://www.vox.com/future-perfect/2023/7/19/23799448/germany-climate-change-nuclear-power-fukushima-carbon-emissions-coal-global-warming>
- Heylen, K. (2023, August 24). Japan start met lozen van gefilterd radioactief afvalwater uit Fukushima: “Veel kritiek, maar risico is laag” | VRT NWS: nieuws. VRTNWS. <https://www.vrt.be/vrtnws/nl/2023/08/24/afvalwater-lozen-fukushima/>
- I'MTech. (2023, November 9). *Fukushima: 8 years on, what has changed in France?* I'MTech. <https://imtech.imt.fr/en/2020/01/16/fukushima-8-years-on-what-has-changed-in-france/>
- Jantos, A., Langesee L.-M. & Kienzler, M. (2023). *21st Century Skills in Higher Education – A Quantitative Analysis of Current Challenges and Potentials at A University of Excellence* [Paper presentation]. 17th annual International Technology, Education and Development Conference, Valencia, Spain. DOI: 10.21125/inted.2023.0438
- Japanese Government. (n.d.). *Discover Fukushima's Hamadori*. Japangov. https://www.japan.go.jp/tomodachi/2018/springsummer2018/discover_fukushimas_hamadori.html
- Kenens, J. (n.d.). *Lespakket: Leven na Fukushima*. SCK CEN. <https://www.sckcen.be/nl/opleidingen/stem/leerkrachten/lesmateriaal/lespakket-leven-na-fukushima>
- Keystone (n.d.). *GCAS College Dublin - The Global Centre for Advanced Studies Bachelor in Interdisciplinary Studies*. <https://www.educations.com>. <https://www.educations.com/institutions/gcas/bachelor-in-interdisciplinary-studies>
- Krea University. (2024, October 15). *About KREA - pioneers in interwoven learning in liberal arts*. Krea University - Top University for Liberal Education. <https://krea.edu.in/about/>
- Krea University. (2025, May 26). *BA admission 2025. Krea University application open*. Krea University - Top University for Liberal Education. <https://krea.edu.in/sias/academics/>
- Lelivrescolaire. (n.d.). *La catastrophe nucléaire de Fukushima (2/2) | Lelivrescolaire.fr*. Histoire-Géographie-EMC 5e. <https://www.lelivrescolaire.fr/page/15110213>
- Le Monde. (2025, February 14). *Au Japon, début du démantèlement des réservoirs d'eau traitée de la centrale nucléaire de Fukushima*. *Le Monde.fr*. https://www.lemonde.fr/international/article/2025/02/14/au-japon-debut-du-demantelement-des-reservoirs-d-eau-traitee-de-la-centrale-nucleaire-de-fukushima_6546181_3210.html
- Lochard, J. & Chhem, R.K (2023) Lessons from Fukushima: the power of culture as Storytelling. *The Lancet*, 401(10389), pp. 1650 – 1651. DOI: 10.1016/S0140-6736(23)00719-5
- Milc. (2022, August 29). *Multi-Disciplinary thinking*. Chaord - Millenials Innovate & Learn Through Chaos. <https://chaord.eu/multi-disciplinary-thinking/#:~:text=Rather%20than%20looking%20at%20individual,one%20section%20that%20defeated%20you%3F>
- NEA. (2016). Five Years after the Fukushima Daiichi Accident: Nuclear Safety Improvements and Lessons Learnt. In *oecd-nea.org* (NEA No. 7284). Nuclear Energy Agency Organisation for Economic Co-Operation and Development. <https://www.oecd-nea.org/upload/docs/application/pdf/2019-12/7284-five-years-fukushima.pdf>
- NEA. (2021). Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident, Ten Years On: Progress, Lessons and Challenges. In OECD Nuclear Energy Agency (NEA No. 7558). OECD Publishing. https://www.oecd-nea.org/jcms/pl_56742/fukushima-daiichi-nuclear-power-plant-accident-ten-years-on?details=true

参考文献

NHK World. (2023, April 17). *Germany divided as final nuclear plant goes offline*. NHK WORLD. <https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/backstories/2401/>

Nomado. (n.d.). *野馬土について*. 野馬土. <https://nomado.info/about/>

NOS Nieuws. (2017, March 10). *Wilde zwijnen maken nu nog de dienst uit rond Fukushima*. NOS. <https://nos.nl/artikel/2162135-wilde-zwijnen-maken-nu-nog-de-dienst-uit-rond-fukushima>

NOS Nieuws. (2022, March 4). *Elektriciteitsbedrijf moet schadevergoeding betalen aan slachtoffers Fukushima*. NOS. <https://nos.nl/artikel/2419780-elektriciteitsbedrijf-moet-schadevergoeding-betalen-aan-slachtoffers-fukushima>

NOS Nieuws. (2023, August 24). *Japan begonnen met lozen radioactief koelwater Fukushima in oceaan*. NOS. <https://nos.nl/artikel/2487779-japan-begonnen-met-lozen-radioactief-koelwater-fukushima-in-oceaan>

ONR. (2021, March 11). *Fukushima 10 years on: How ONR responded to a nuclear accident almost 6,000 miles away*. Office for Nuclear Regulation. <https://www.onr.org.uk/news/all-news/2021/03/fukushima-10-years-on-how-onr-responded-to-a-nuclear-accident-almost-6000-miles-away>

Redactie. (2023, August 22). *Japan start donderdag met lozen koelwater uit kerncentrale Fukushima*. <https://www.demorgen.be/snelnieuws/japan-start-donderdag-met-lozen-koelwater-uit-kerncentrale-fukushima~b6ee6c376/>

Rensen, F. (2024, November 7). *Robotarm haalt voor het eerst een korreltje kernaafval uit verwoeste reactor Fukushima*. <https://www.demorgen.be/tech-wetenschap/robotarm-haalt-voor-het-eerst-een-korreltje-kernaafval-uit-verwoeste-reactor-fukushima~b3d68226/>

Repères (March, 2021). *Fukushima Daiichi: What progress 10 years later? (Report No.48)*. The IRSN magazine. https://en.irsln.fr/sites/en/files/2023-10/IRSN_magazine-reperes48_Special-Fukushima-EN-20210310.pdf

RIVM. (2020). *Afweging van voor- en nadelen van beschermende maatregelen bij kernongevallen* (RIVM-rapport 2020-0058). Rijksinstituut voor Volksgezondheid en Milieu. <https://www.rivm.nl/bibliotheek/rapporten/2020-0058.pdf>

SCK CEN. (2025, May 15). *België maakt opnieuw ruimte voor kernenergie: SCK CEN bekijkt eventuele opportuniteiten*. <https://www.sckcen.be/nl/nieuws/belgie-maakt-opnieuw-ruimte-voor-kernenergie-sck-cen-bekijkt-eventuele-opportuniteiten>

The Economist. (2021, March 6). *Nuclear power must be well-regulated, not ditched*. The Economist. <https://www.economist.com/leaders/2021/03/06/nuclear-power-must-be-well-regulated-not-ditched>

ULB. (n.d.). *Master in Environmental Science and Management with focus Management of the environment - ULB*. <https://www.ulb.be/en/programme/m-envig#presentation>

Universidad del Medio Ambiente. (2023, October 24). *Our faculties - Universidad del Medio Ambiente*. Universidad Del Medio Ambiente. <https://umamexico.com/our-faculties/>

Universidad del Medio Ambiente. (2024, October 29). *Licenciatura en Emprendimiento y Proyectos Socioambientales - Universidad del Medio Ambiente*. Universidad Del Medio Ambiente. <https://umamexico.com/licenciaturas/#plandeestudio>

Van Der Veere, A. (2022, March 11). *Elf jaar na kernramp Fukushima eisen kankerpatiënten miljoenencompensatie*. NOS. <https://nos.nl/artikel/2420685-elf-jaar-na-kernramp-fukushima-eisen-kankerpatienten-miljoenencompensatie>

VRT NWS. (2021, March 11). *Lessen uit Japan: 10 vragen en antwoorden, 10 jaar na de aardbeving, tsunami en kernramp* | VRT NWS: nieuws. <https://www.vrt.be/vrtnws/nl/2021/03/10/lessen-uit-japan-10-jaar-na-de-aardbeving-tsunami-en-kernramp/>

Wang, Q., Chen, X., & Yi-chong, X. (2013). *Accident like the Fukushima unlikely in a country with effective nuclear regulation: Literature review and proposed guidelines*. Renewable and Sustainable Energy Reviews, 17, pp. 126-146. DOI: 10.1016/j.rser.2012.09.012

World Nuclear Association. (n.d.). *Fukushima Daiichi Accident - World Nuclear Association*. <https://world-nuclear.org/information-library/safety-and-security/safety-of-plants/fukushima-daiichi-accident>

Yang, J.E. (2014). *Fukushima Dai-Ichi Accident: Lessons Learned And Future Actions From The Risk Perspectives*. Nuclear engineering and technology, 46(1), pp. 27-38. DOI: 10.5516/NET.03.2014.702.